令 和 元 年 度

（自）令和元年４月１日
（至）令和２年３月31日

第８期

定 期 総 会 議 案 書

令和２年５月書面審議

一般社団法人 **神奈川県精神科病院協会**

○ 定　期　総　会

議　事

第１号議案　　令和元年度事業報告承認の件

第２号議案　　令和元年度決算報告(案)承認の件

第３号議案　　令和元年度会計監査報告の件

○ 優　良　職　員
日精協永年勤続病院職員　表　彰

令和元年度 優良職員表彰受賞者名簿

令和元年度 永年勤続病院職員表彰受賞者名簿

第１号議案

令和元年度　事業報告

１　事業実施状況

⑴　研修会（定款第４条第１項３号・６号）

①　精神科看護技術研修

期　日　　令和２年１月28日㈫～１月31日㈮

会　場　　ホテルプラム（横浜市西区北幸）

受講者　　29名

科目及び講師　　下表のとおり

期　日	午　前		午　後	
１月28日 ㈫	開講式	「神奈川県の精神保健福祉について」 神奈川県健康医療局 がん・疾病対策課ＧＬ 中　込　昌　也　氏	「気分障害の理解と対応」 金沢文庫エールクリニック 院　長 藤　原　修一郎　氏	
１月29日 ㈬	「認知症の理解と対応」 横浜ほうゆう病院 看護部長 原　科　美津枝　氏		「統合失調症」 ハートフル川崎病院 院　長 河　村　代志也　氏	
１月30日 ㈭	「急性期患者の理解と対応」 曽我病院 看護部長 渡　辺　勝　次　氏		「心理療法について」 川崎幸クリニック 臨床心理士 稲　富　正　治　氏	
１月31日 ㈮	「アルコール依存症の理解と対応」 久里浜医療センター 精神科医師 湯　本　洋　介　氏		「児童思春期患者の理解と対応」 神奈川県立こども医療センター 児童思春期精神科部長 新　井　　卓　氏	閉講式

②　栄養課職員研修

期　日　　令和元年10月31日㈭

会　場　　株式会社ファンケル総合研究所（横浜市戸塚区上品濃12-13）

受講者　　13名

テーマ　　株式会社ファンケル総合研究所見学

セミナー「サプリメントと微量栄養素」

⑵　事務長会

①　総会及び第１回研修会

期　日　　令和元年６月５日㈬

会　場　　神奈川歯科大学附属横浜研修センター（横浜市神奈川区鶴屋町）

出席者　　40名

総会議題

⑴　平成30年度事業報告について

⑵　平成30年度決算報告（案）について

⑶　令和元年度事業計画（案）について

⑷　運営委員の選任について

運営委員（敬称略）

留任　　橋　本　尚　美（東横恵愛病院）

留任　　川　口　陽一郎（丹沢病院）

新任　　星　　亮　太（けやきの森病院）

新任　　吉　田　　稔（ワシン坂病院）

研修会

テーマ　「医療従事者における働き方改革」

講　師　　田中社会保険労務士事務所

特定社会保険労務士　　田　中　　仁　氏

②　第２回研修会

期　日　　令和２年１月16日㈭

会　場　　ホテルプラム（横浜市西区）

出席者　　51名

テーマ　　病院における情報セキュリティに関する講演会

講　師　　トレンドマイクロ株式会社　業種営業推進部　　福　島　道　昭　氏

③　医事研究会

期　日　　令和元年12月18日㈬

会　場　　横浜カメリアホスピタル

出席者　　31名

内　容　　「病院に関わる多様な話題についてグループ別意見交換」

⑶　看護部長会

①　総会及び第１回研修会

期　日　　令和元年６月28日㈮

会　場　　神奈川歯科大学附属横浜研修センター（横浜市神奈川区鶴屋町）

出席者　　32名

総会議題

⑴　平成30年度事業報告について

⑵　平成30年度決算報告（案）について

⑶　令和元年度事業計画（案）について

⑷　運営委員の選任について

運営委員（敬称略）

留任　　渡　辺　勝　次（曽我病院）

留任　　小堀内　浩　子（武田病院）

新任　　梶　山　倫　子（かわさき記念病院）

新任　　長　田　祐　子（秦野病院）

研修会

テーマ　「精神科病院における倫理」～倫理カンファレンスの実際～

講　師　　公益財団法人積善会　曽我病院　看護部長　　渡　辺　勝　次　氏

② 第２回研修会

期　日　　令和元年９月30日㈪

会　場　　神奈川歯科大学附属横浜研修センター（横浜市神奈川区鶴屋町）

出席者　　26名

テーマⅠ「日精協看護管理者等講習会報告」

講　師　　医療法人社団慶神会　武田病院　看護部長　　小堀内　浩　子　氏

テーマⅡ　映画上映会

映画「オキナワへいこう」80分鑑賞

③ 第３回研修会

期　日　　令和元年11月20日㈬

会　場　　神奈川歯科大学附属横浜研修センター（横浜市神奈川区鶴屋町）

出席者　　57名

テーマ　「認知症基本的対応技術　カンフォータブル・ケア」

講　師　　医療法人北仁会　旭山病院　看護師長　　南　　敦　司　氏

④ 第４回研修会

期　日　　令和２年２月６日㈭

会　場　　ホテルプラム(横浜市西区北幸)

出席者　　53名

テーマ　「スタッフのメンタルヘルスに向き合う手立て」

講　師　　武蔵野大学　准教授　　矢　澤　美香子　氏

⑷　薬剤部長会

① 総会及び研修会

期　日　　令和元年６月18日㈫

会　場　　神奈川歯科大学附属横浜研修センター（横浜市神奈川区鶴屋町）

出席者　　18名

総会議題

⑴　平成30年度事業報告について

⑵　平成30年度決算報告（案）について

⑶　令和元年度事業計画（案）について

⑷　運営委員の選任について

運営委員（敬称略）

留任　　平　賀　俊　幸（鶴見西井病院）

留任　　勝　呂　一　也（国府津病院）

新任　　来　田　　歩（大和病院）

新任　　西　川　幸　輝（横浜相原病院）

研修会

テーマ　「発達障害の正しい理解と薬物療法」

講　師　　鶴見西井病院　医師　　蓮　舎　寛　子　氏

② 第２回研修会

期　日　　令和元年12月９日㈪

会　場　　神奈川歯科大学附属横浜研修センター（横浜市神奈川区鶴屋町）

出席者　　19名

テーマ　「身体リスクを考慮した統合失調症治療」

講　師　　三光舎　所長　　長　嶺　敬　彦　氏

③ 第３回研修会

期　日　　令和２年３月４日㈬

新型コロナウイルス感染症の拡大により開催を中止した

⑸　代表者・院長会議

期　日　　令和元年10月８日（火）

会　場　　ホテル横浜キャメロットジャパン（横浜市西区南幸）

出席者　　39名

講演　「厚生労働科学研究班の調査結果にもとづく『重度かつ慢性』患者への包括支援実践ガイドのご紹介」

座長　　愛光病院院長　　竹　内　知　夫　氏

演者　　帝京平成大学大学院　臨床心理研究科教授　　安　西　信　雄　氏

⑹　共催事業（定款第４条第１項３号・６号）

① 第９回精神疾患の身体合併症を考える会

期　日　　令和元年５月14日㈫

会　場　　レンブラントホテル厚木

出席者　　74名

特別講演　「抗精神病薬のOn-Target副作用とOff-Target副作用」

演者　三光舎　所長　　長　嶺　敬　彦　氏

② 県央・県西精神医学研究会

期　日　　令和元年７月18日㈭

会　場　　レンブラントホテル厚木

出席者　　24名
一般講演　「統合失調症薬物治療について」
　演者　医療法人社団　増田厚生会　清川遠寿病院　院長　　岩　元　　誠　氏
特別講演　「ＥＢＭと実臨床を交えた統合失調症治療」
　演者　藤田医科大学医学部　精神神経科学講座　准教授　　岸　　太　郎　氏

③　神奈川県精神神経科診療所協会との合同講演会
期　日　　令和元年11月14日㈭
会　場　　グランドインターコンチネンタルホテル
出席者　　71名
講演Ⅰ　「一般精神科クリニックにおける成人期ＡＤＨＤ診療の実際」
　演者　　医療法人社団ハートクリニック　ハートクリニック横浜
　　院長　　柏　　淳　氏
講演Ⅱ　「神経発達症の診断・治療の基礎と展開～青年期とそれ以降を中心に～」
　演者　　東海大学医学部　専門診療学系　精神科学　教授　　松　本　英　夫　氏

④　学術講演会
期　日　　令和元年９月13日㈮
会　場　　横浜ベイシェラトンホテル
出席者　　72名
特別講演　「統合失調症の治療戦略を考える会」
　演者　名古屋大学大学院医学系研究科　教授　　尾　崎　紀　夫　氏

⑤　神奈川県精神神経科診療所協会との合同講演会
期　日　　令和２年２月27日㈭
会　場　　グランドインターコンチネンタルホテル
開催中止となった

⑺　助成（定款第４条第１項第９号）

①	一般社団法人神奈川県精神保健福祉協会	令和元年７月25日
②	一般社団法人神奈川県精神保健福祉士協会	令和元年９月10日
③	第18回こころの日 映画鑑賞	令和元年６月21日
④	日精看神奈川県支部音楽会	令和元年11月８日
⑤	第20回神奈川県看護教育フォーラム	令和元年11月29日

⑻　表彰（定款第４条第１項第６号）（敬称略）

①　藍綬褒章　　令和元年５月21日
　大　滝　紀　宏（湘南病院）
②　平成30年度優良職員表彰　　令和元年５月28日
　飯　塚　和　恵（清川遠寿病院）ほか95名
③　公益社団法人日本精神科病院協会永年勤続病院職員表彰　　令和元年５月28日
　堀　部　則　子（曽我病院）ほか14名

④　精神保健福祉事業厚生労働大臣表彰　令和元年10月24日
小　池　ひかる（相州病院）
下　坂　悦　子（愛光病院）

⑥　公益社団法人日本精神保健福祉連盟会長表彰　令和元年10月24日
高　橋　信　治（愛光病院）

⑦　神奈川県保健衛生表彰　令和元年11月20日
増　田　直　樹（清川遠寿病院）

⑧　神奈川県救急医療功労者表彰　令和元年９月３日
医療法人　研水会　平塚病院

⑨　神奈川県公衆衛生協会長表彰　令和元年11月20日
鷲　尾　暁　子（愛光病院）

⑩　神奈川県精神保健福祉協会長表彰　令和元年12月５日
佐久間　謙　一（愛光病院）

⑼　各種委員の推薦（定款第４条第１項第11号）（敬称略）

①　神奈川県教職員第二健康審査会委員　平成31年４月23日
依 頼 者　　神奈川県教育委員会教育長
被推薦者　　天　保　英　明（愛光病院医師）
任　　期　　平成31年４月１日～令和３年３月31日

②　神奈川県いじめ問題対策連絡協議会委員　平成31年４月23日
依 頼 者　　神奈川県教育委員会教育長
被推薦者　　大　滝　紀　宏（湘南病院院長）
任　　期　　平成31年４月１日～令和２年３月31日

③　横浜市措置入院者等実地審査に係る審査担当精神保健指定医　平成31年４月23日
依 頼 者　　横浜市健康福祉局長
被推薦者（順不同）

氏　名	現　職	氏　名	現　職
西　井　華　子	鶴見西井病院理事長	山　口　哲　顕	港北病院院長
長谷川　吉　生	日向台病院院長	加　瀬　昭　彦	横浜舞岡病院院長
荒　井　政　明	ワシン坂病院院長	畑　　俊　治	横浜丘の上病院名誉会長
佐　伯　隆　史	神奈川病院理事長	大　滝　紀　宏	湘南病院院長
馬　場　淳　臣	日野病院院長	畑　　俊　彰	横浜丘の上病院院長
石　井　一　彦	大和病院院長	西井ヘルベルト	鶴見西井病院院長
福　島　　端	あさひの丘病院院長	吉　田　勝　明	横浜相原病院院長
増　田　竜　大	港北病院副院長		

任　　期　　平成31年４月１日～令和２年３月31日

④　相模原市精神科病院実地指導・実地審査担当医　平成31年４月23日
依 頼 者　　相模原市長
被推薦者（順不同）

氏　名	現　職	氏　名	現　職
石　井　一　彦	大和病院院長	宮　岡　　等	北里大学医学部教授
増　田　直　樹	清川遠寿病院理事長	澤　山　　透	北里大学医学部講師
三　浦　賢　吾	相州病院院長	新　井　久　捻	北里大学医学部講師
坂　田　深　一	相模ヶ丘病院院長	天　保　英　明	北里大学医学部講師

任　　期　　平成31年４月１日～令和２年３月31日

⑤　厚木市障害者協議会委員　　平成31年４月23日

依 頼 者　　厚木市障害者協議会会長

被推薦者　　増　田　直　樹（清川遠寿病院理事長）

任　　期　　平成31年４月１日～令和２年３月31日

⑥　川崎市精神科病院実地審査に係わる精神保健指定医　　令和元年６月11日

依 頼 者　　川崎市健康福祉局長

被推薦者（順不同）

氏　名	現　職	氏　名	現　職
長谷川　吉　生	日向台病院院長	西　井　華　子	鶴見西井病院理事長
山　口　哲　顕	港北病院院長	武　田　龍太郎	武田病院院長
石　垣　達　也	東横恵愛病院院長	寺　崎　太　洋	栗田病院院長
岡　田　　昇	生田病院院長	井　上　俊　宏	日向台病院医師
石　附　知　実	武田病院リハビリテーション診療部長		

任　　期　　平成31年４月１日～令和２年３月31日

⑦　神奈川県精神科救急医療調整会議委員　　令和元年６月11日

依 頼 者　　神奈川県健康医療局保健医療部　精神保健医療担当課長

被推薦者　　竹　内　知　夫（愛光病院院長）

任　　期　　令和元年６月１日～令和３年５月31日

⑧　神奈川県精神科病院実地審査に係る実地審査担当医　　令和元年６月11日

依 頼 者　　神奈川県健康医療局保健医療部　精神保健医療担当課長

被推薦者（順不同）

氏　名	現　職	氏　名	現　職
西　井　華　子	鶴見西井病院理事長	高　屋　淳　彦	福井記念病院院長
荒　井　政　明	ワシン坂病院院長	武　田　龍太郎	武田病院院長
畑　　俊　治	横浜丘の上病院名誉会長	笠　原　友　幸	秦野病院院長
長谷川　吉　生	日向台病院院長	竹　内　俊　介	愛光病院副院長
石　井　一　彦	大和病院院長	三　浦　賢　吾	相州病院院長
坂　井　喜　郎	秦野厚生病院院長	坂　田　深　一	相模ケ丘病院院長
宮　地　伸　吾	秦野厚生病院診療部長	増　田　直　樹	清川遠寿病院理事長
関　口　　剛	丹沢病院院長	岩　元　　誠	清川遠寿病院院長
山　口　哲　顕	港北病院院長	山　田　聡　敦	国府津病院院長
大　野　史　郎	平塚病院院長	矢　野　　広	国府津病院副院長
石　井　紀　夫	藤沢病院院長	宮　岡　　等	北里大学医学部教授

氏　名	現　職	氏　名	現　職
長谷川　剛	曽我病院院長	井上勝夫	北里大学医学部診療講師
黒岩　隆	相州病院理事長	新井久捻	北里大学医学部講師
内田修二	愛光病院副院長	澤山　透	北里大学医学部講師
物部長承	けやきの森病院副院長	天保英明	北里大学医学部診療講師
大滝紀宏	湘南病院院長	松本英夫	東海大学医学部教授
馬場淳臣	日野病院院長	山本賢司	東海大学医学部教授
加瀬昭彦	横浜舞岡病院院長	三上克央	東海大学医学部准教授
吉田勝明	横浜相原病院院長	赤間史明	東海大学医学部講師
福島　端	あさひの丘病院院長	大西雄一	東海大学医学部講師

任　　期　　令和元年９月１日～令和２年３月31日

⑨　神奈川県アルコール健康障害対策推進協議会委員　　令和元年７月９日

依 頼 者　　神奈川県健康医療局保健医療部　精神保健医療担当課長

被推薦者　　増田直樹（清川遠寿病院理事長）

任　　期　　令和元年７月20日～令和３年７月19日

⑩　救急医療対策委員会委員　　令和元年７月９日

依 頼 者　　神奈川県医師会

被推薦者　　山口哲顕（港北病院院長）

任　　期　　令和元年７月１日～令和３年６月30日

⑪　災害救助対策委員会委員　　令和元年７月９日

依 頼 者　　神奈川県医師会

被推薦者　　坂井喜郎（秦野厚生病院院長）

任　　期　　令和元年７月１日～令和３年６月30日

⑫　神奈川県救急医療中央情報センター運営協議会委員　　令和元年７月９日

依 頼 者　　神奈川県医師会

被推薦者　　山口哲顕（港北病院院長）

任　　期　　令和元年７月１日～令和３年６月30日

⑬　学校医部会幹事　　令和元年７月９日

依 頼 者　　神奈川県医師会

被推薦者　　大滝紀宏（湘南病院院長）

任　　期　　令和元年７月１日～令和３年６月30日

⑭　産業医部会幹事　　令和元年７月９日

依 頼 者　　神奈川県医師会

被推薦者　　山口哲顕（港北病院院長））

任　　期　　令和元年７月１日～令和３年６月30日

⑮　神奈川県ギャンブル等依存症対策推進協議会委員　　令和２年１月14日

依 頼 者　　神奈川県保健医療部長

被推薦者　　佐伯　隆史（神奈川病院理事長）

任　　期　　令和２年１月16日～令和４年１月15日

⑯ 横浜市精神医療審査会委員　令和２年１月14日

依 頼 者　横浜市長

被推薦者　山　口　哲　顕（港北病院院長）

坂　井　喜　郎（秦野厚生病院院長）

荒　井　政　明（ワシン坂病院長）※予備委員

任　　期　令和２年４月１日～令和４年３月31日

⑰ 相模原市精神医療審査会委員　令和２年１月14日

依 頼 者　相模原市長

被推薦者　坂　井　喜　郎（秦野厚生病院院長）

増　田　直　樹（清川遠寿病院理事長）

宮　岡　　等（北里大学教授）

任　　期　令和２年４月１日～令和４年３月31日

⑱ 横浜市こころの健康相談センター嘱託医師　令和２年１月14日

依 頼 者　横浜市長

被推薦者　西　井　華　子（鶴見西井病院理事長）

畑　　俊　治（横浜丘の上病院名誉会長）

増　田　直　樹（清川遠寿病院理事長）

任　　期　令和２年４月１日～令和３年３月31日

⑲ 横浜市保健医療協議会委員　令和２年１月14日

依 頼 者　横浜市医療局長

被推薦者　佐　伯　隆　史（神奈川病院理事長）

任　　期　令和２年４月１日～令和４年３月31日

⑳ 神奈川県いじめ防止対策調査会委員　令和２年３月10日

依 頼 者　神奈川県教育長

被推薦者　大滝　紀宏（湘南病院院長）

任　　期　令和２年４月26日～令和４年４月25日

㉑ 神奈川県いじめ問題対策連絡協議会委員　令和２年３月10日

依 頼 者　神奈川県教育長

被推薦者　大　滝　紀　宏（湘南病院院長）

任　　期　令和２年４月１日～令和３年３月31日

㉒ 川崎市精神医療審査会委員　令和２年３月10日

依 頼 者　川崎市健康福祉局長

被推薦者（順不同）

氏　名	現　職	氏　名	現　職
山　口　哲　顕	港北病院院長	武　田　龍太郎	武田病院院長
石　垣　達　也	東横恵愛病院院長	竹　林　裕　直	栗田病院診療部長
寺　崎　太　洋	栗田病院院長※予備委員		

任　　期　令和２年４月１日～令和４年３月31日

㉓　川崎市精神保健福祉センター判定会委員　　令和２年３月10日

依 頼 者　　川崎市健康福祉局長

被推薦者（順不同）

氏　　名	現　　職	氏　　名	現　　職
武　田　龍太郎	武田病院院長	福　島　　端	あさひの丘病院院長
長谷川　吉　生	日向台病院院長 ※第１水曜日のみ	竹　林　裕　直	栗田病院診療部長 ※第１水曜日のみ
石　垣　達　也	東横恵愛病院院長 ※第３金曜日のみ		

任　　期　　令和２年４月１日～令和４年３月31日

㉔　日常生活自立支援事業契約締結審査会委員　　令和２年３月10日

依 頼 者　　神奈川県社会福祉協議会会長

被推薦者　　吉　田　勝　明（横浜相原病院院長）

任　　期　　令和２年４月１日～令和４年３月31日

㉕　神奈川県精神障害者スポーツ大会実行委員　　令和２年３月10日

依 頼 者　　神奈川県身体障害者連合会長

被推薦者　　大　野　史　郎（平塚病院院長）

任　　期　　令和２年４月１日～令和４年３月31日

⑽　会報発行（定款第４条第１項第10号）

協会報第84号（2019年）　　B5版

発行部数　　300部

⑾　神奈川県補助金事業

令和元年度神奈川県地域医療介護総合確保基金事業による「精神科看護職員研修事業」の実施（定款第４条１項３号）

・実施状況

イ）精神科中堅看護職員研修

実施日：令和２年１月17日（参加：19名）
　　令和２年２月12日（参加：11名）

内　容：神奈川県の精神科病床を有する病院に勤務する中堅看護職員を対象に、認知行動療法による研修を行い、精神科医療に従事する専門職として、良質な医療・介護サービスの提供をするための知識や技能の習得を図るとともに、時代の変化に対応する精神科看護職員の育成と人材確保の一助となることを目指す。

ロ）精神科新人看護職員研修

実施日：令和元年11月20日（参加：22名）
　　令和元年12月20日（参加：13名）

内　容：神奈川県の精神科病床を有する病院に勤務する新人看護職員を対象に、認知

行動療法による研修を行い、精神科医療に従事する専門職として、良質な医療・介護サービスの提供をするための知識や技能の習得を図るとともに、新人看護職員の早期離職の防止とその人材育成を図る。

⑿　４県市委託事業の実施（定款第４条第１項第14号）

①　精神科救急医療夜間輪番病院調整

②　精神科救急医療深夜輪番病院調整

③　精神科救急医療平日輪番病院調整

④　精神科救急医療休日輪番及び土日午後輪番病院調整

⑤　応援指定医派遣病院調整

⒀　各種委員会の構成状況

①　精神科救急医療体制調整委員会（竹内 知夫・大野 史郎・山口 哲顕）

第１・第２ブロック代表	（主）畑　　俊　治 （基幹病院代表） 田　口　寿　子	西　井　華　子 樋　口　　進	武　田　龍太郎
第３ブロック代表	（主）石　井　一　彦 （基幹病院代表） 宮　岡　　等	黒　岩　　隆	増　田　直　樹
第４ブロック代表	（主）長谷川　　剛	坂　井　喜　郎	山　田　聡　敦

②　災害対策委員会

㈱大　野　史　郎・
畑　　俊　治・山　口　哲　顕・坂　井　喜　郎・長谷川　吉　生・
宮　岡　　等

③　情報管理委員会

畑　　俊　治・石　井　一　彦・武　田　龍太郎

2　庶務の概要

(1)　役員に関する事項

役　　職	氏　　名	就任年月日	現　　職
理事（会　長）	竹　内　知　夫	令和元年５月28日	愛光病院院長
理事（副会長）	大　野　史　郎	令和元年５月28日	平塚病院院長
理事（副会長）	山　口　哲　顕	令和元年５月28日	港北院院長
理　　事	荒　井　政　明	令和元年５月28日	ワシン坂病院院長
理　　事	畑　　俊　治	令和元年５月28日	横浜丘の上病院名誉会長
理　　事	石　井　一　彦	令和元年５月28日	大和病院院長
理　　事	黒　岩　　隆	令和元年５月28日	相州病院理事長
理　　事	大　滝　紀　宏	令和元年５月28日	湘南病院院長
理　　事	武　田　龍太郎	令和元年５月28日	武田病院院長
理　　事	長谷川　　剛	令和元年５月28日	曽我病院院長
理　　事	坂　井　喜　郎	令和元年５月28日	秦野厚生病院院長
理　　事	増　田　直　樹	令和元年５月28日	清川遠寿病院理事長
理　　事	馬　場　淳　臣	令和元年５月28日	日野病院院長
理　　事	佐　伯　隆　史	令和元年５月28日	神奈川病院理事長
理　　事	山　田　聡　敦	令和元年５月28日	国府津病院院長
監　　事	西　井　華　子	令和元年５月28日	鶴見西井病院理事長
監　　事	長谷川　吉　生	令和元年５月28日	日向台病院院長

(2)　名誉会員に関する事項　（日付は就任日）

名誉会員　　石　井　　毅　　平成18年５月31日　　医療法人興生会相模台病院

(3)　事務局職員に関する事項

事務局長　　杉　山　　宏　　平成31年４月１日採用

事務局員　　菅　　千　積　　平成30年11月28日採用

横　井　　茂　　平成28年４月１日事務局長採用、
平成31年４月１日事務局員、令和元年５月31日退職

⑷　会員等の異動状況（届出順）

異動日	病　院　名	異動事項	変　更　後	変　更　前
H31. 4. 1	けやきの森病院	会　員	物　部　長　承	堤　　康　彦
H31. 4. 1	曽我病院	事務部長	加　藤　　裕	中　嶋　義　次
H31. 4. 1	東海大学医学部付属病院	病院長	渡　邊　雅　彦	飯　田　政　弘
H31. 4. 1	秦野厚生病院	看護部長	西　　典　子	栗　原　幸四郎
H31. 4. 1	神奈川病院	会　員	佐　伯　隆　史	佐　伯　　彰
H30.10. 1	日吉病院	病床数	７０床	７７床
H31. 4. 1	川崎市立川崎病院	病院長	金　井　歳　雄	成　松　芳　明
H31. 4.20	紫雲会横浜病院	事務長	古　稲　俊　博	村　上　範　恭
H31. 5. 1	保土ヶ谷病院	病院長	松　尾　研一郎	大　辻　雅　彦
H31. 4. 1	相模台病院	会　員	石　井　達　範	佐々木　道　夫
H31. 4. 1	相模台病院	院　長	山　上　達　也	大　谷　剛　正
H30.11.21	江田記念病院	事務長	對　川　佳　孝	山　崎　　茂
H31. 3.21	横浜相原病院	事務長	酒　井　篤　史	笹　森　幸　司
R1.11. 6	福井記念病院	事務長	森　　比呂子	日　景　永　子
R1.10. 8	福井記念病院	病床数	４３８床	４４８床
R1. 6. 1	横浜相原病院	病床数	３６７床	３７８床
R1.12. 1	曽我病院	病床数	３６３床	３７５床
R2. 2. 1	東横恵愛病院	事務長	荒　井　竜　也	橋　本　尚　美
R2. 2.21	江田記念病院	事務長	荒　木　伸　之	對　川　佳　孝

⑸　理事会に関する事項

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
第１回 平成31年 ４月23日㈫	理事定数　　14名 出席理事数　13名 出席監事　　２名	
	１　協議事項	
	⑴平成30年度事業報告(案)について	事務局長から資料に基づき概要の説明があり、その後、原案を総会議案として提出することが承認された。
	⑵平成30年度収支予算の決算報告(案)について	事務局長から資料に基づき概要の説明があり、監査報告の後、原案を総会議案として提出することが承認された。
	⑶第７期定期総会開催及び優良職員表彰等について	定期総会・表彰式・祝賀会の次第及び役割分担が決定された。 優良職員表彰、日精協永年勤続病院職員表彰の受賞者が原案どおり承認された。 なお、受賞者代表の答辞は相模ケ丘病院の小林一裕看護部長に、永年勤続表彰の受賞者代表は曽我病院の堀部則子看護科長に依頼することとなった。
	⑷各種委員の推薦について	• 神奈川県教職員第二健康審査会委員 協議の結果、愛光病院天保英明医師を推薦することとなった。 • 県いじめ問題対策連絡協議会委員 協議の結果、引き続き大滝理事を推薦することとなった。 • 横浜市実地審査担当精神保健指定医 協議の結果、引き続き荒井理事他13名を推薦するとともに、神奈川病院の佐伯彰名誉院長の後任について調整することとなった。 • 相模原市精神科病院実地審査担当医 協議の結果、引き続き石井理事他３名を推薦するとともに、相模台病院の佐々木精神神経科部長の後任について、会長と事務局で調整することとなった。北里大学東病院には推薦を依頼中である旨報告した。 • 厚木市障害者協議会委員 協議の結果、引き続き増田理事を推薦することとなった。
	⑸その他	資料に基づき「働き方改革関連法」の施行について課題や問題点があれば、事務局まで寄せてもらうこととした。 厚労省の措置入院に関する文書指導の内容を受けて、プロジェクトチームによる検討を行い、試行を行っていく方向性について会長より話があった。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
	2　報告事項 ⑴日精協報告について	大野副会長から平成31年４月４日に開催された2019年度第１回理事会での議題について報告があった。 ①外国人技能実習生及び特定技能外国人の受入れについて ②DPAT事務局事業に係る業務一式応募申請について ③日精協会員病院における第１回後任心理師試験の合格状況等調査 ④日精協７０年史企画案について ⑤平成30年度老人保健健康増進等事業報告 ⑥日本精神科医学会学術大会について ⑦厚労省　訪日外国人旅行者等に対する医療の提供に関する検討会 ⑧七者懇「診療科ごとの将来必要な医師数の見直しについて」への見解作成 ⑨厚労省　精神保健福祉士の養成の在り方等に関する検討会 ⑩四病協　病院医師の働き方検討委員会 ⑪厚労省　医道審議会医師分科会医師専門研修部会
	⑵会員病院の届出事項変更届について	７病院から７件の変更届が報告された。
	⑶事務長会・看護部長会・薬剤部長会総会について	資料により、それぞれの担当理事から報告があった。
	⑷大型連休における休日輪番病院等の確保について	資料により、輪番体制の不足状況について協力依頼があった。
	⑸30年度第８回理事会議事録について	議長から、修正があれば事務局に連絡するよう発言があった。
	⑹第９回精神疾患の身体合併症を考える会について	時間の都合により、各自資料に目を通すこととなった。
	⑺その他	会長から新事務局長の紹介があった。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
第２回 令和元年 ６月11日㈫	理事定数　　15名 出席理事数　13名 出席監事　　２名	
	１　協議事項	
	⑴令和元年度役員役務分担について	５月の総会において承認された新役員の役務の調整が行われた。
	⑵ブロック会議の開催について	がん・疾病対策課及び3政令市の「措置入院患者の入院先の選定にかかる適正運用に向けた取組みについて」に係る説明を受け議論した結果、緊急措置入院の運用の厳格性を求めつつ、トライアルの実施に向けてブロック会議を開催することとなった。
	⑶各種表彰候補者の推薦について	令和元年度神奈川県救急医療功労者表彰について協議し、平塚病院を推薦することとなった。
	⑷各種委員の推薦について	・神奈川県精神科病院実地審査担当精神保健指定医 協議の結果、引き続き荒井理事他22名に新たに７名を加えて、協会より30名を推薦するとともに、北里大学東病院、東海大学病院よりそれぞれ５名ずつ推薦依頼をすることとなった。
	２　報告事項	
	⑴日精協報告について	大野副会長から2019年５月16日に開催された2019年度第２回理事会での議題について報告があった。 ①今年度６３０調査について ②平成30年度事業報告書(案)について ③平成30年度財務諸表等(決算案)について ④第15回定時社員総会について ⑤七者懇「医療従事者の需給に関する検討会　医師需給分科会第４次中間取りまとめ」について ⑥令和２年度厚生労働省予算に関する要望(案)について ⑦令和元年度医療経済実態調査を会員病院に対して行うことについて ⑧会員法人傘下の病院・施設等における人員調査を会員病院に対して行うことについて ⑨平成30年度総合調査報告(案)について ⑩70周年記念式典DVD作成について ⑪障害支援区分一次判定ロジックの分析報告について ⑫技能実習生の受入希望に関する調査結果について（資料１）

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
		⑬第24回精神科病院理事長等研修会について ⑭看護管理者等講習会について ⑮医療保護入院届、定期病状報告等文書料補助実態調査結果について ⑯四病協　病院医師働き方改革検討委員会 坂井代議員から令和元年６月７日に開催された「第15回定時社員総会・全国会員連絡協議会」について報告があった。
	⑵各種表彰候補者の推薦について	議長より次のとおり表彰候補者を推薦したことを報告した。 • 平成31年度精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰（県）について、相州病院の小池ひかる氏を推薦 • 2019年度精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰（日精協）について、愛光病院の下坂悦子氏を推薦 • 第67回精神保健福祉全国大会における連盟会長表彰について、愛光病院の高橋信治氏を推薦
	⑶各種委員の推薦について	議長より次のとおり推薦したことを報告した。 • 神奈川県精神科救急医療調整会議委員について竹内会長を推薦 • 横浜市実地審査担当精神保健指定医 神奈川病院の佐伯彰名誉院長の後任は佐伯隆史理事とし、15名を推薦 • 川崎市精神科病院実地審査担当医 30年度に引き続き山口副会長他６名に生田病院の岡田院長、日向台病院の井上医師を加えた９名を推薦 • 相模原市精神科病院実地審査担当医 30年度に引き続き石井理事他３名を推薦し、北里大学東病院から推薦のあった４名を加えた８名を推薦
	⑷会員病院の届出事項変更届について	２病院から２件の変更届が報告された。
	⑸事務長会・看護部長会・薬剤部長会総会について	資料により、それぞれの担当理事から報告があった。
	⑹31年度第１回理事会議事録について	議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。
	⑺第７期定期総会議事録について	議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
	⑻その他	山口副会長より、定款第６条により、会員の資格の取得については理事会の承認が必要なので、「会員」の変更届については、協議事項とすべきとの指摘があり、今後は会員の変更については、協議事項とすることとした。 山口副会長より、5/28の総会において、会員ではない病院長が出席し、新規の会員として紹介があった。他にも議決権がない賛助会員も出席していた旨の指摘があり、今後は、正会員以外の者が総会に参加しようとする場合の周知や定款の変更なども検討していくこととした。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
第３回 令和元年 ７月９日㈫	理事定数　　15名 出席理事数　14名 出席監事　　２名	
	１　協議事項	
	⑴代表者・院長会議について	内容(講演)については、会長に一任となった。会議進行、意見交換会の進行は坂井理事が行うこととなった。
	⑵各種表彰候補者の推薦について	• 令和元年度神奈川県保健衛生表彰について協議し、増田理事を推薦することとなった。 • 令和元年度神奈川県公衆衛生協会長表彰については、各病院に照会し回答が来てから検討することとなった。
	⑶各種委員の推薦について	• 神奈川県医師会からの推薦依頼について 協議の結果、引き続き救急医療対策委員会、神奈川県救急医療中央情報センター運営協議会及び産業医部会幹事に山口副会長を、災害救助対策委員会に坂井理事を、学校医部会幹事に大滝理事を推薦することとなった。
	⑷会員病院の届出事項変更届について	相模台病院から会員及び院長の変更届があり、会員については定款第6条による承認となった。
	⑸その他	• 坂井理事より「精神科救急医療体制について」として、行政機関の職員の対応に関する行政機関への文書の案が提示され、議論を行った。 • 坂井理事より「精神科病院における身体拘束に関する検討チーム」について報告があり、議論を行った。 • 山口副会長より「横浜市へのカジノ誘致についての要望書」について説明があり、一般社団法人横浜市医師会会長に対して要望書を出すことについて賛同することとなった。
	２　報告事項	
	⑴日精協報告について	大野副会長から2019年６月13日に開催された2019年度第４回理事会での議題について報告があった。 ①新組織体制について • 病院管理委員会と災害委員会を統合 • 診療報酬・介護報酬・障害サービス報酬を一体的に担当する委員会 • 技能実習生及び特定技能(在留資格)の担当部署の新設 • 総合情報委員会を後方委員会に名称変更

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
		②役員改選に伴う新体制執行部担当分担について ③委員会委員の選出について ④外部会議委員の選出・推薦について ⑤2019年度支部長会について • 2019年８月１日㈭　14時～ 17時 ⑥ＤＰＡＴ関連体制整備状況調査実施について ⑦2019年度老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）の国庫補助協議の結果について ⑧公認心理師現任者講習会報告（2019年１月から３月開催分） ⑨木村よしお通信 大野副会長から日本精神科医学会学術大会（北海道）に参加し、会場が一か所であり1,600名程度の参加があったこと、愛光病院の発表が会長賞を受賞したこと、閉会式では翌年度開催地の大阪の担当者が来年度の開催概要、招待講演について話をしていたことについて報告があった。来年11月の大阪開催のときには、神奈川の開催は再来年９月なので、開催する内容について、特に招待講演の演者やシンポジウム、演題の案などを検討していく必要があり、各理事にも協力依頼があった。 竹内会長からは、会長賞を受けたのは、精神科病院協会として行った会員病院の新人・中堅看護師に実施した看護職員研修の３年間分について発表したものである。横浜での開催の際には、研修を受けた職員の職場に戻っての活用や上司の判断についての調査結果についても発表していくことになる旨の話があった。
	⑵各種委員の推薦について	議長より次のとおり推薦したことを報告した。 • 神奈川県精神科病院実地審査担当医について 第２回理事会で協議したとおり、荒井理事他22名に新たに７名を加えて、協会より30名を推薦するとともに、北里大学東病院、東海大学病院よりそれぞれ５名ずつ推薦があり、合計40名を推薦した。 • 神奈川県アルコール健康障害対策推進協議会委員 清川遠寿病院の増田理事を推薦した。
	⑶会員病院の届出事項変更届について	１病院から１件の変更届が報告された。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
	⑷ブロック会議の開催について	１・２ブロックは7/31、３ブロックは7/29、４ブロックは7/18開催予定となっていることについてそれぞれ報告があった。会長からは、８月下旬から９月頃に基幹病院と行政と協会とで救急医療体制の話し合いをし、基幹病院に対する要望、意見交換などを行うことについて話があった。
	⑸事務長会・看護部長会・薬剤部長会総会について	資料により、それぞれの担当理事から、事務長会は6/5の総会・研修会について、看護部長会は6/28の総会・研修会について、薬剤部長会は6/18の総会・研修会について報告があった。
	⑹令和元年度第２回理事会議事録について	議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。
	⑺その他	• 弁護士からのクレーム事案について 山口副会長より、6/28に弁護士が措置入院中の患者家族とともに来院し、退院要求を行い、医師、職員や県職員の電話での説明にも応じず、面会時間、消灯時間を過ぎても居座り、他の患者に名刺を配る、職員を威嚇する等を繰り返した。翌日には県職員が来院し直接説明をするも了解せず、警察官の臨場を依頼する事態となり、30時間超に渡り病棟内に居座られ業務を妨害された事案があった。各病院でも苦労したケースがあれば情報を共有した方が良いと思うので調査をお願いしたいとの話があった。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
第４回 令和元年 ９月10日㈫	理事定数　　15名 出席理事数　15名 出席監事　　２名	
	１　協議事項	
	⑴代表者・院長会議について	資料により、会長より講演会及び代表者・院長会議の内容の説明があり、このとおり実施することとなった。
	⑵各種表彰候補者の推薦について	令和２年度社会貢献者表彰について協議したが、該当者なしとなった。
	⑶その他	・「カジノ誘致中止要請書」について 山口副会長より説明があり、前回理事会で承認となり、横浜市医師会会長に対して「横浜市にＩＲは誘致しない」要望書を出したが、賛否つかずとなった。診療所協会長より「カジノ誘致中止要請書」として署名活動に名前を連ねる要請がきており、協議した結果、精神関係の他団体も名前を連ねる前提で協力することとなった。
	２　報告事項	
	⑴日精協報告について	大野副会長からそれぞれ報告があった。 （令和元年８月１日に開催された支部長会議） ①各支部からの問題提起について 身体「拘束」と身体「固定」（別紙：富山県提出） ②執行部からのお知らせについて ・病院経営管理委員会からのお知らせ 民法の一部を改正する法律の施行に関する周知について（個人が保証人となる保証契約では極度額を定めなければ効力を生じないこととなる） 日精協版セルフレビューチェックシート2019年度（３年に一度） ・一般社団法人日本准看護師連絡協議会について（会員の募集） ・看護・コメディカル委員会からのお知らせ （2019年９月５日に開催された2019年度第６回理事会） ①「精神病床における隔離・身体的拘束に関する実体調査」について ②読売新聞大阪本社版「身体拘束　突然死の危険」の記事について日精協として抗議文を提出する。 ③日本准看護師推進センターについて

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
		④精神疾患患者に関わる入院医療等における実体調査ヒアリング調査への協力依頼(厚生労働省保健局医療課) ⑤令和２年度行事予定について ⑥専門対応チーム等設置申請について ⑦次期代議員(及び予備代議員)・地区代表・支部長の選出について ⑧「精神医療機関における外国人患者受け入れの現状と課題把握に関する調査」について (2019年９月５日に開催された日精協関東地区協議会) ①日精協関連について ②２月全体講演会：内容と日程の確認〈２月３日㈪〉 ③令和２年度協議会日程決定(５月、９月、２月) ④各支部活動報告
	⑵会員病院の届出事項変更届について	１病院から１件の変更届が報告された。
	⑶精神科救急ブロック会議の開催結果について	畑理事より、１・２ブロックは7/31に開催し、著しい自傷他害の恐れが緊急措置入院という前提で４県市のトライアルの実施案について承認したことが報告された。 石井理事より、３ブロックは7/29に開催し、指定医派遣した場合の医師の勤務時間が最大の課題であり回答が保留中であることが報告された。 長谷川剛理事より、４ブロックは7/18開催し、輪番調整は調整する病院の負担が多くなること、こうした会議を何度か開催したい意見があったことが報告された。 会長より、トライアルは始まっているので、途中経過を報告してもらうことや、全体会議の開催などを行政と相談していく必要があることが報告された。
	⑷年末年始の休日輪番病院の確保について	行政から、年末年始は１日４床９日間に加えて後方移送病床２床２日間の依頼があり、後方移送日は、協力病院の多い日を充てることについては、行政が先に後方移送日を決めるべきとされた。(後日の調整により、協力依頼の結果を見て後方移送病院及び後方移送日の案を決めることとなった)
	⑸各部長会について	会長より、協会本会計から各部会への補助を今年度は見合わせており、事務長会、薬剤部長会はそれでも残高が見込まれるが、看護部長会は若干赤字となるので、実態を見ながら調整したい。来年度は残高を見ながら出すか出さないか考えたい旨の報告があった。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
		• 資料により、それぞれの担当理事から、事務長会は第２回研修会以降が検討中であること、看護部長会は第２回～第４回研修会の予定について、薬剤部長会は第２回、第３回研修会の予定について報告があった。
	⑹各種研修事業について	事務局より、精神科看護技術研修、精神科看護職員研修、栄養課職員研修会の実施予定について報告を行った。
	⑺令和元年度第３回理事会議事録について	議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。
	⑻その他	• 弁護士、患者家族からのクレーム等事案の調査結果について 事務局より調査結果の報告を行った。山口副会長より、情報を共有した方が良いと思うので、患者氏名、弁護士氏名など、さらに病院に調査するなど、協会としての対応を今後どうしていくか検討が必要である旨の話があった。 • 年金診断書におけるカルテ開示について 山口副会長より、「障害年金申請の際のカルテ開示請求」について、日精協に確認したところ、開示して問題がないとの回答であったことが報告された。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
第５回 令和元年 11月12日㈫	理事定数　　15名 出席理事数　13名 出席監事　　２名	
	１　協議事項	
	⑴年末年始の救急輪番体制について	資料により、事務局より説明を行い、1/2㈭の空床について、横浜丘の上病院、清川遠寿病院の協力申し出があった。会長より、さらに協力できる場合は、事務局に連絡するよう要請した。
	⑵その他	・ギャンブル等依存症対策推進協議会(仮称)について 県精神保健医療担当課長より説明があり、佐伯隆史理事を構成員に選出し、協力することとなった。 ・弁護士、患者家族からのクレーム等事案の調査結果について 情報を共有する必要性があるため、患者氏名、弁護士氏名など､さらに病院に確認したうえで資料を作成し、総会において回覧することとなった。
	２　報告事項	
	⑴日精協報告について	大野副会長から2019年11月７日に開催された2019年度第７回理事会について報告があった。 ①公認心理師に関する調査実施について ②電気けいれん療法(ＥＣＴ)実践研修会の共催について ③天皇陛下御即位奉祝事業に関するご協賛のお願いについて ④台風15号について ・浅井病院(千葉県災害支援病院) ⑤台風19号について ・大平下病院(栃木県) ⑥広報活動について ⑦内閣府 障害者政策委員会(10月17日) ⑧四病協 病院医師の働き方検討委員会(11月６日) ・オンコールの取扱いについて(資料１) ⑨七者懇 臨床研修指導医講習会運営員会(11月６日)
	⑵各種表彰者の決定について	資料により、表彰受賞者が報告された。
	⑶精神科救急再診察トライアルの実績について	資料により、基幹病院に措置入院となった患者の再診察を受入病院以外の指定医２名で行うトライアルの取組について、10月末までの実績報告がされた。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
	⑷各部長会について	資料により、看護部長会第２回研修会について報告があった。
	⑸各種研修事業について	資料により、坂井理事より、栄養課職員研修会について報告があった。また事務局より、精神科看護技術研修会実施予定について報告を行った。
	⑹各種委員会について	増田理事より第1回神奈川県アルコール健康障害対策推進協議会の報告があった。
	⑺令和元年度第４回理事会議事録について	議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。
	⑻その他	• 医療審議会(10/15)について 竹内会長より、地域医療支援病院などについて報告があった。 • 令和２年度会計予算(案)に向けて(情報管理委員会) 事務局より、予算計上に向けて、ホームページのリニューアル、クラウド型ストレージの導入及びノートパソコンのリース等の内容を報告した。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
第６回 令和２年 １月14日㈫	理事定数　　15名 出席理事数　14名 出席監事　　２名	
	１　協議事項 ⑴令和２年度当初予算（案）について	資料により、事務局より説明を行い、会員病院の病床数に変更があるとの指摘があったため、確認して修正することとした。竹内会長より、気がついた点があれば事務局まで連絡するよう話があった。
	⑵精神科救急再診察トライアルについて	資料により、事務局より行政作成資料の説明を行い、その内容について議論があった。令和２年４月以降、再診察トライアルの対象を拡大、継続していく案についてはそのとおりとし、今後必要に応じてブロック会議、救急担当の役員会議なども検討していくこととなった。また、竹内会長より、指定医確保については指定医数の調査を行い、医師・ケースワーカーが理解していないことについては、県が県域の警察、病院職員を対象に警察官通報の理解を得る研修を計画している旨の話があった。
	⑶第10回日本精神科医学会学術大会に向けて	資料により、事務局より説明を行い、４月に実行委員会を立ち上げていくこととした。
	⑷各種委員の推薦について	・横浜市精神医療審査会委員 協議の結果、引き続き山口副会長、坂井理事を推薦し、荒井理事の後任に佐伯理事を推薦することとなった。 ・相模原市精神医療審査会 協議の結果、引き続き坂井理事を推薦し、今年度より１名増員のため、その他２名については、会長が調整することとなった。（調整の結果、増田理事が１年間は引き続き担い、北里大学東病院の宮岡教授を推薦することとなった） ・横浜市こころの健康相談センター嘱託医師 協議の結果、引き続き西井監事、畑理事、増田理事を推薦することとなった。 ・横浜市保健医療協議会委員 協議の結果、佐伯理事を推薦することとなった。
	⑸その他	坂井理事より「精神科病院における身体拘束に関する検討チーム」について報告があり、議論を行った。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
	2　報告事項 ⑴日精協報告について	令和２年１月10日に開催された2019年度第８回理事会について、資料を配布した。 武田理事より、令和２年１月10日に開催された「オンライン資格確認の導入に関する医療関係団体説明会」について資料により報告された。
	⑵会員病院の届出事項変更について	福井記念病院から２件の変更届が報告された。
	⑶各種委員の推薦について	神奈川県ギャンブル等依存症対策推進協議会の委員について、佐伯理事を推薦したことが報告された。
	⑷各部長会について	資料により、担当理事より報告があった。
	⑸各種研修事業について	資料により、担当理事より報告があった。
	⑹令和元年度第５回理事会議事録について	議長から、修正があれば事務局に連絡するよう話があった。
	⑺その他	• クレーム等事案の調査結果について 資料を見やすく調整して、総会で回覧するよう話があった。 • がん・疾病対策課作成資料「平成30年度版　精神保健の現状」を配布した。

年月日	理事定数、出席理事数及び協議・報告事項	協　議　・　報　告　事　項　の　概　要
第７回 令和２年 ３月	（資料送付）	新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置のため開催を中止し、資料を送付した。
	１　協議事項	
	⑴令和２年度年間主要行事予定について	現時点での年間スケジュール案を送付
	⑵令和元年度第８期定期総会について	通知案を送付。日程は、5/26（火）を予定しており、今後、開催の可否を検討し、通知することとなる。
	⑶優良職員表彰式の来賓について	来賓者案を送付。行政の異動を確認し、４月中旬を目処に発出することとし、慎重に対応することになる。
	⑷４月～５月の連休中の輪番病院の確保について	現時点での輪番表を送付。まだ埋まっていない日にち、特に5/4 ～ 5/6について、協力の申し出を依頼。
	⑸各種委員の推薦について	・６件の推薦依頼を送付。理事・監事にはそのまま継続で就任を依頼し、理事以外の委員には、事務局にて調整をすることとした。
	２　報告事項	
	⑴日精協報告について	第９回理事会(3/5開催)の次第を送付。
	⑵会員病院の届出事項変更について	病床数変更が２件、事務長の変更が２件あった。
	⑶各種委員の推薦について	第６回理事会にて調整中となっていた、相模原市精神医療審査会委員については、資料のとおりとなった。
	⑷各部長会について	1/16に実施した事務長会研修会、2/6に実施した看護部長会第4回研修会の報告資料を送付。なお、3/4に予定していた薬剤部長会研修会は中止となった。
	⑸各種研修事業について	精神科看護職員研修(補助事業)及び精神科看護技術研修の開催概要資料を送付。なお、2/28に予定していたコ・メディカル職員研修は中止となった。
	⑹第６回理事会議事録について	修正があれば事務局に連絡することとした。
	⑺その他	相模原市長より指定病院等の指定(通知)等があった。

⑹　総会に関する事項

年月日 会　場	会員定数、出席会員数 及び議案等	議　　事　　の　　概　　要
第７期 定期総会 令和元年 ５月28日㈫	会員定数(正会員)57名 出席会員数　　38名 出席者　　25名 委任状提出者　　13名	定刻14時30分　坂井 喜郎理事の司会により開催を告げる。
	議長の選任	引続き竹内 知夫会長が開会のあいさつを行った。 続いて、司会者から定款第15条に基づく議長の選任について、司会者に一任を諮ったところ出席者全員の拍手で承認された。 司会者は、福井記念病院　高屋 淳彦院長を指名し承諾が得られた。 高屋 淳彦院長が議長席に就く。 議長は、あいさつのあと本日の出席者について正会員出席者25名、委任状による表決者13名の計38名で、定足数を超えており総会は成立する旨を宣した。
	第１号議案 平成30年度事業報告承認の件	議長は、これより議事に入ることを告げ、第１号議案から第４号議案までを議案として提案することを宣した。 議長は、第１号議案及び第２号議案はそれぞれ関連があるので、一括して提案するとともに事務局に議案の内容の説明を求めた。
	第２号議案 平成30年度決算報告(案)承認の件	杉山事務局長は、議長の指示に基づき第１号議案　平成30年度事業報告承認の件及び第２号議案　平成30年決算報告(案)承認の件を第７期定期総会議案書に基づき各議案の概要を説明した。 続いて議長は、第３号議案について長谷川　吉生監事に報告を求めた。
	第３号議案 平成30年度会計監査報告の件	長谷川監事は４月23日に会計監査を行った結果、適正に処理されていることを報告した。 議長は第１号議案から第３号議案までの質疑を行うことを告げ、議場からの発言を求めたが特に発言はなく、議長は第１号議案、第２号議案、第３号議案の議案をそれぞれ個々に諮ったところ、いずれも満場一致異議なく承認され、議長は原案通り承認可決されたことを告げた。
	第４号議案 役員改選の件	議長は、第４号議案に関して事務局に立候補の状況について説明を求めた。 杉山事務局長は、議長の指示により第７定期総会議案書に基づき立候補者数は理事、監事とも定款第20条の規定に定める定数以内であることなど、立候補の状況の概要を説明した。 その後、議長は議場からの発言を求めたところ、特段の発言はなく、議長は、定款第17条第３項に基づき、候補者ごとにその可否を議場に諮った。その結果、いずれも満場一致異議なく下記のとおり承認可決されたことを告げた。

年月日 会　場	会員定数、出席会員数 及び議案等	議　事　の　概　要
		理事　長谷川　　剛　　監事　長谷川　吉　生 理事　馬　場　淳　臣　　監事　西　井　華　子 理事　大　滝　紀　宏 理事　武　田　龍太郎 理事　黒　岩　　隆 理事　佐　伯　隆　史 理事　畑　　俊　治 理事　増　田　直　樹 理事　坂　井　喜　郎 理事　山　口　哲　顕 理事　竹　内　知　夫 理事　荒　井　政　明 理事　大　野　史　郎 理事　石　井　一　彦 理事　山　田　聡　敦 なお、議長は被選任者に就任承諾の確認を求め、被選任者全員が席上その就任を承諾した。 議長は以上で予定の議事は全て承認されたことを告げ、審議の終了を宣し、15時10分降壇し閉会した。 司会者は以上で第７期定期総会を終了したこと、これより別室にて定款第21条第２項の規定により代表理事である会長及び副会長の選定のための理事会が開催されること、また暫時休憩の後、本議場において会長及び副会長の選任の結果報告がなされる予定であることを述べた。（新役員が別室に移動し、理事会を開催し会長及び副会長の選任を行った後、議場に戻る。）
	臨時理事会	司会者は、会長及び副会長の選任の結果報告を求めた。 竹内会長から、理事会における決議により、会長に竹内　知夫、副会長に大野　史郎、山口　哲顕が選任されたことを報告するとともに、新役員を代表し就任あいさつを行った。 その他の発言はなく、司会者は、新役員が今後２年間協会運営に尽力願いたい旨発言し、15時25分散会した。
第２回 定期総会 令和２年 ３月25日㈬	（書面決議） 正会員数　　57名 賛成　　46名 反対　　0名 第１号議案 令和２年度事業計画（案）について 第２号議案 令和２年度会計予算計画（案）について	新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置のため、開催を中止し、書面による審議を行った。 第１号議案、第２号議案ともに書面議決の結果、承認された。

第２号議案

令和元年度　決算報告(案)

Ⅰ　収支計算書

1　収支計算書総括表 …… 33
2　一般会計収支計算書 …… 34
3　精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計収支計算書 …… 38
4　収支計算書に対する注記 …… 39

Ⅱ　財務諸表

1　貸借対照表 …… 40
2　貸借対照表総括表 …… 41
3　一般会計貸借対照表 …… 42
4　精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計貸借対照表 …… 43
5　財産目録 …… 44
6　正味財産増減計算書 …… 46
7　正味財産増減計算書内訳表 …… 48
8　正味財産増減計算書総括表 …… 50
9　一般会計正味財産増減計算書 …… 52
10　精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計正味財産増減計算書 …… 54
11　財務諸表に対する注記 …… 55
12　附属明細書 …… 56

Ⅲ　公益目的支出計画

1　公益目的支出計画の概要 …… 57

収支計算書総括表

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで

１　収入の部　　（単位：円）

科　　目	一　般　会　計	輪番調整業務等受託事業会計	合　　計
１　会費収入	13,121,500		13,121,500
２　繰入金収入	9,542,154		9,542,154
３　利息収入	25,580	154	25,734
４　雑収入	500,000		500,000
５　事業収入		122,152,652	122,152,652
６　特定預金取崩収入	114,000		114,000
収　　入　　計	23,303,234	122,152,806	145,456,040
前期繰越収支差額	22,646,193	0	22,646,193
収　入　合　計	45,949,427	122,152,806	168,102,233

２　支出の部

科　　目	一　般　会　計	輪番調整業務等受託事業会計	合　　計
１　一般管理費	21,845,288		21,845,288
２　特別支出	10,830,000		10,830,000
３　事業支出		113,214,652	113,214,652
４　繰入金支出		8,938,154	8,938,154
支　　出　　計	32,675,288	122,152,806	154,828,094
当期収支差額	△ 9,372,054	0	△ 9,372,054
次期繰越収支差額	13,274,139	0	13,274,139

一般会計収支計算書

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで

1　収入の部　　（単位：円）

款	項	目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	予算に対する決算増・減（△）	内訳
基本収益	会費	会員会費	12,053,000	12,049,500	△ 3,500	・正会員 基本会費及び病床割会費 ・賛助会員
		特別会費	1,440,000	1,072,000	△ 368,000	・代表者・院長会議特別会費 ・優良職員表彰等特別会費 ・精神科看護技術研修受講料 ・精神科看護職員研修受講料
	その他	繰入金収入	9,638,000	9,542,154	△ 95,846	・救急医療輪番調整委託費 ・精神科看護職員研修事業補助金
事業外収入	運用財産	預金利息	34,000	25,580	△ 8,420	・県市債利息ほか
	その他	雑収入	950,000	500,000	△ 450,000	・会報広告料 ・祝金
特定預金取崩収入	積立金取崩	契約更新料積立金取崩収入	114,000	114,000	0	・2年毎
収入計			24,229,000	23,303,234	△ 925,766	
前期繰越収支差額			17,021,290	22,646,193	5,624,903	
収入合計			41,250,290	45,949,427	4,699,137	

2　支出の部

款	項	目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	予算に対する決算増・減（△）	内訳
一般管理費	事務費	職員手当	7,482,000	7,509,000	27,000	・常勤職員（３名）の給与,賞与
		通勤費	124,000	127,680	3,680	・常勤職員（２名）の定期代等
		法定福利費	1,203,000	1,175,918	△ 27,082	・社会保険料等事業主負担分
		福利厚生費	2,204,000	2,274,628	70,628	・優良職員表彰経費 ・日精協永年勤続病院職員表彰経費 ・常勤職員健康診断費
		事務所賃借料	3,292,000	3,292,196	196	・協会事務所借上代
		リース料	954,000	944,784	△ 9,216	・複合機リース料 ・電話機,セキュリティールーター ・パソコン・サーバ
		水道光熱費	152,000	151,267	△ 733	・電気料 ・水道料
		事務用品費	478,000	614,946	136,946	・複写用紙 ・複写カウント度数料 ・会計ソフト更新料 ・保守契約料 ・その他事務用品
		通信費	797,000	549,472	△ 247,528	・電話料、郵便切手 ・インターネット接続,HP更新等
		旅費交通費	25,000	18,000	△ 7,000	・常勤職員の事務連絡旅費
		印刷代	849,000	503,458	△ 345,542	・総会議案書 ・協会報 ・その他

款	項	目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	予算に対する決算増・減(△)	内訳
一般管理費	事務費	助成金	325,000	250,000	△ 75,000	・県精神保健福祉士会 ・県精神保健福祉協会 ・精神科病院コーラス大会 ・県看護教育フォーラム ・こころの看護の日
		教育費	1,552,000	1,208,219	△ 343,781	・看護技術研修 ・栄養課職員研修 ・精神科看護職員研修
		交際費	350,000	104,600	△ 245,400	・祝い金，生花等慶弔経費
		諸会費	159,000	153,350	△ 5,650	・各種団体等会費 ・研修会等参加
		救急医療体制費	95,000	120,459	25,459	・救急医療体制関係経費
		総会費	333,000	222,420	△ 110,580	・定期総会会場借上げ
		理事会費	384,000	280,620	△ 103,380	・理事会開催費
		代表者・院長会費	982,000	541,038	△ 440,962	・会議開催
		事務長会費	400,000	0	△ 400,000	・会議・研修会等開催
		看護部長会費	300,000	0	△ 300,000	・会議・研修会等開催
		薬剤部長会費	300,000	0	△ 300,000	・会議・研修会等開催
		小委員会費	252,000	184,000	△ 68,000	・精神保健関係打合会経費等
		手数料	399,000	399,876	876	・各種振込手数料 ・決算、申告報酬 ・公益目的支出計画実施報告書作成

款	項	目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	予算に対する決算増・減(△)	内訳
一般管理費	事務費	公租公課費	964,000	1,092,700	128,700	・各種契約書印紙代 ・法人税等引当金 ・消費税引当金
		雑費	102,000	126,657	24,657	・来客接待 ・新聞購読料他
		予備費	150,000	0	△ 150,000	
一般管理費小計			24,607,000	21,845,288	△ 2,761,712	
特別支出	会員名簿作成費積立金		130,000	130,000	0	・隔年発行
	周年記念事業積立金		700,000	700,000	0	
	投資有価証券取得支出		0	10,000,000	10,000,000	・神奈川県２４３回公募公債
特別支出小計			830,000	10,830,000	10,000,000	
支出計			25,437,000	32,675,288	7,238,288	
当期収支差額			△ 1,208,000	△ 9,372,054	△ 8,164,054	
次期繰越収支差額			15,813,290	13,274,139	△ 2,539,151	

精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計収支計算書

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで

１　収入の部　　（単位：円）

款	項	令和元年度予算額	令和元年度決算額	予算に対する決算増・減（△）	内訳
事業収入	受入体制確保費	112,063,000	113,214,652	1,151,652	夜間輪番病院受入体制確保費 深夜輪番病院受入体制確保費 休日輪番病院受入体制確保費 土日午後輪番病院受入体制確保費 平日輪番病院受入体制確保費
	輪番調整受託費	8,938,000	8,938,000	0	神奈川県負担額 横浜市負担額 川崎市負担額 相模原市負担額
雑収入	預金利子	1,000	154	△ 846	
収入計		121,002,000	122,152,806	1,150,806	
前期繰越収支差額		0	0	0	
収入合計		121,002,000	122,152,806	1,150,806	

２　支出の部

款	項	令和元年度予算額	令和元年度決算額	予算に対する決算増・減（△）	内訳
事業支出	受入体制確保費	112,063,000	113,214,652	1,151,652	夜間輪番病院受入体制確保費 深夜輪番病院受入体制確保費 休日輪番病院受入体制確保費 土日午後輪番病院受入体制確保費 平日輪番病院受入体制確保費
繰入金支出	繰入金支出	8,939,000	8,938,154	△ 846	一般会計に繰入
支出計		121,002,000	122,152,806	1,150,806	
当期収支差額		0	0	0	
次期繰越収支差額		0	0	0	

収支計算書に対する注記

１　資金の範囲

資金の範囲には、現金、普通預金、定期預金(流動資産)、未収入金、未払金、預り金、前受金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記２に記載するとおりである。

２　次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

（単位：円）

科　　目	前期末残高		当期末残高	
	一般	輪番調整	一般	輪番調整
現　金　預　金	14,237,379	34,723,844	9,105,478	30,392,346
未　収　入　金	9,373,181	28,777,071	5,114,071	30,464,364
合　　計　（A）	23,610,560	63,500,915	14,219,549	60,856,710
未　　払　　金	788,255	63,500,915	781,392	60,856,710
預　　り　　金	176,112	0	114,018	0
前　　受　　金	0	0	50,000	0
合　　計　（B）	964,367	63,500,915	945,410	60,856,710
次期繰越収支差額(A)－(B)	22,646,193	0	13,274,139	0

貸借対照表

（令和２年３月３１日現在）

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1．流動資産			
現金	13,738	16,317	△ 2,579
普通預金	38,284,086	47,744,906	△ 9,460,820
定期預金	1,200,000	1,200,000	0
未収入金	31,068,364	29,294,071	1,774,293
流動資産合計	70,566,188	78,255,294	△ 7,689,106
2．固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,100,000	2,100,000	0
基本財産合計	2,100,000	2,100,000	0
(2) 特定資産			
災害時対策積立預金	3,000,000	3,000,000	0
周年記念事業積立預金	4,200,000	3,500,000	700,000
契約更新料積立預金	0	114,000	△ 114,000
会員名簿積立預金	130,000	0	130,000
特定資産合計	7,330,000	6,614,000	716,000
(3) その他固定資産			
投資有価証券	22,500,000	12,500,000	10,000,000
電話加入権	220,584	220,584	0
敷金	630,000	630,000	0
その他固定資産合計	23,350,584	13,350,584	10,000,000
固定資産合計	32,780,584	22,064,584	10,716,000
資産合計	103,346,772	100,319,878	3,026,894
Ⅱ 負債の部			
1．流動負債			
未払金	57,128,031	55,432,989	1,695,042
預り金	114,018	176,112	△ 62,094
前受金	50,000	0	50,000
流動負債合計	57,292,049	55,609,101	1,682,948
負債合計	57,292,049	55,609,101	1,682,948
Ⅲ 正味財産の部			
指定正味財産	2,100,000	2,100,000	0
（うち基本財産への充当額）	(2,100,000)	(2,100,000)	0
一般正味財産	43,954,723	42,610,777	1,343,946
（うち特定資産への充当額）	(7,330,000)	(6,614,000)	716,000
正味財産合計	46,054,723	44,710,777	1,343,946
負債及び正味財産合計	103,346,772	100,319,878	3,026,894

貸借対照表総括表

（令和２年３月３１日現在）

（単位：円）

勘定科目	一般会計	輪番調整業務受託事業会計	内部取引消去	合計
Ⅰ 資産の部				
1．流動資産				
現金	13,738			13,738
普通預金	7,891,740	30,392,346		38,284,086
定期預金	1,200,000			1,200,000
未収入金	5,114,071	30,464,364	△ 4,510,071	31,068,364
流動資産合計	14,219,549	60,856,710	△ 4,510,071	70,566,188
2．固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	2,100,000			2,100,000
基本財産合計	2,100,000	0	0	2,100,000
(2) 特定資産				
災害時対策積立預金	3,000,000			3,000,000
周年記念事業積立預金	4,200,000			4,200,000
会員名簿積立預金	130,000			130,000
特定資産合計	7,330,000	0	0	7,330,000
(3) その他固定資産				
投資有価証券	22,500,000			22,500,000
電話加入権	220,584			220,584
敷金	630,000			630,000
その他固定資産合計	23,350,584	0	0	23,350,584
固定資産合計	32,780,584	0	0	32,780,584
資産合計	47,000,133	60,856,710	△ 4,510,071	103,346,772
Ⅱ 負債の部				
1．流動負債				
未払金	781,392	60,856,710	△ 4,510,071	57,128,031
預り金	114,018			114,018
前受金	50,000			50,000
流動負債合計	945,410	60,856,710	△ 4,510,071	57,292,049
負債合計	945,410	60,856,710	△ 4,510,071	57,292,049
Ⅲ 正味財産の部				
指定正味財産	2,100,000	0		2,100,000
（うち基本財産への充当額）	(2,100,000)	(0)		(2,100,000)
一般正味財産	43,954,723	0		43,954,723
（うち特定資産への充当額）	(7,330,000)	(0)		(7,330,000)
正味財産合計	46,054,723	0	0	46,054,723
負債及び正味財産合計	47,000,133	60,856,710	△ 4,510,071	103,346,772

一般会計貸借対照表

（令和２年３月３１日現在）

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1．流動資産			
現金	13,738	16,317	△ 2,579
普通預金	7,891,740	13,021,062	△ 5,129,322
定期預金	1,200,000	1,200,000	0
未収入金	5,114,071	9,373,181	△ 4,259,110
流動資産合計	14,219,549	23,610,560	△ 9,391,011
2．固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	2,100,000	2,100,000	0
基本財産合計	2,100,000	2,100,000	0
(2) 特定資産			
災害時対策積立預金	3,000,000	3,000,000	0
周年記念事業積立預金	4,200,000	3,500,000	700,000
契約更新料積立預金	0	114,000	△ 114,000
会員名簿積立預金	130,000	0	130,000
特定資産合計	7,330,000	6,614,000	716,000
(3) その他固定資産			
投資有価証券	22,500,000	12,500,000	10,000,000
電話加入権	220,584	220,584	0
敷金	630,000	630,000	0
その他固定資産合計	23,350,584	13,350,584	10,000,000
固定資産合計	32,780,584	22,064,584	10,716,000
資産合計	47,000,133	45,675,144	1,324,989
Ⅱ 負債の部			
1．流動負債			
未払金	781,392	788,255	△ 6,863
預り金	114,018	176,112	△ 62,094
前受金	50,000	0	50,000
流動負債合計	945,410	964,367	△ 18,957
負債合計	945,410	964,367	△ 18,957
Ⅲ 正味財産の部			
指定正味財産	2,100,000	2,100,000	0
（うち基本財産への充当額）	(2,100,000)	(2,100,000)	0
一般正味財産	43,954,723	42,610,777	1,343,946
（うち特定資産への充当額）	(7,330,000)	(6,614,000)	716,000
正味財産合計	46,054,723	44,710,777	1,343,946
負債及び正味財産合計	47,000,133	45,675,144	1,324,989

精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計貸借対照表

（令和２年３月３１日現在）

（単位：円）

勘定科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1．流動資産			
預金	30,392,346	34,723,844	△ 4,331,498
未収入金	30,464,364	28,777,071	1,687,293
流動資産合計	60,856,710	63,500,915	△ 2,644,205
資産合計	60,856,710	63,500,915	△ 2,644,205
Ⅱ 負債の部			
1．流動負債			
未払金	60,856,710	63,500,915	△ 2,644,205
流動負債合計	60,856,710	63,500,915	△ 2,644,205
負債合計	60,856,710	63,500,915	△ 2,644,205
Ⅲ 正味財産の部			
指定正味財産	0	0	0
一般正味財産	0	0	0
正味財産合計	0	0	0
負債及び正味財産合計	60,856,710	63,500,915	△ 2,644,205

財　産　目　録

（令和２年３月３１日現在）

（単位：円）

勘定科目	金額		
Ⅰ 資産の部			
1．流動資産			
現金	13,738		
普通預金			
普通預金　みずほ銀行横浜駅前支店	36,564,421		
普通預金　横浜銀行横浜駅前支店	1,719,665		
定期預金			
定期預金　みずほ銀行横浜駅前支店	1,200,000		
未収入金			
受入体制確保費	28,209,364		
輪番調整業務受託費	2,255,000		
精神科看護職員研修事業補助金	604,000		
流動資産合計		70,566,188	
2．固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金			
定期預金　みずほ銀行横浜駅前支店	2,100,000		
基本財産合計	2,100,000		
(2) 特定資産			
災害時対策積立預金			
定期預金　みずほ銀行横浜駅前支店	3,000,000		
周年記念事業積立預金			
普通預金　みずほ銀行横浜駅前支店	4,200,000		
会員名簿積立預金			
普通預金　みずほ銀行横浜駅前支店	130,000		
特定資産合計	7,330,000		
(3) その他固定資産			
投資有価証券			
神奈川県２２５回公募公債	12,500,000		
神奈川県２４３回公募公債	10,000,000		
電話加入権　事務局電話回線	220,584		
敷金　事務局事務所	630,000		
その他固定資産合計	23,350,584		
固定資産合計		32,780,584	
資産合計			103,346,772

勘定科目	金		額
Ⅱ 負債の部			
1．流動負債			
未払金			
受入体制確保費	56,346,639		
令和元年度確定消費税及び地方消費税	515,600		
社会保険料	191,292		
令和元年度法人県民税、市民税均等割	74,500		
預り金			
社会保険料3月分他	114,018		
前受金			
会報広告料	50,000		
流動負債合計		57,292,049	
負債合計			57,292,049
Ⅲ 正味財産の部			46,054,723
負債及び正味財産合計			103,346,772

正味財産増減計算書

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
（１）経常収益			
入会金	0	500,000	△ 500,000
会員会費	12,049,500	12,069,500	△ 20,000
特別会費	1,072,000	1,390,000	△ 318,000
受入体制確保費	113,214,652	109,445,930	3,768,722
輪番調整受託費	8,938,000	8,856,000	82,000
預金利息	25,734	33,863	△ 8,129
雑収入	500,000	1,909,000	△ 1,409,000
研修補助金	604,000	478,000	126,000
経常収益計	136,403,886	134,682,293	1,721,593
（２）経常費用			
事業費	131,311,503	128,564,577	2,746,926
職員手当	6,244,650	5,662,777	581,873
通勤費	105,445	157,590	△ 52,145
法定福利費	977,487	1,015,392	△ 37,905
福利厚生費	2,273,408	2,313,832	△ 40,424
事務所賃借料	2,732,524	2,608,070	124,454
リース料	784,172	778,582	5,590
水道光熱費	125,551	124,523	1,028
事務用品費	472,058	350,056	122,002
通信費	461,660	525,390	△ 63,730
旅費交通費	14,940	15,480	△ 540
印刷代	325,258	458,352	△ 133,094
助成金	250,000	325,000	△ 75,000
教育費	1,208,219	1,198,431	9,788
諸会費	127,283	97,180	30,103
救急医療体制費	120,459	0	120,459
代表者・院長会費	541,038	872,450	△ 331,412
事務長会費	0	400,000	△ 400,000
看護部長会費	0	300,000	△ 300,000
薬剤部長会費	0	300,000	△ 300,000
小委員会費	152,720	176,816	△ 24,096
手数料	57,499	34,588	22,911
公租公課費	1,017,355	962,079	55,276
雑費	105,125	182,859	△ 77,734
名簿作成事業費	0	259,200	△ 259,200
受入体制確保費	113,214,652	109,445,930	3,768,722
管理費	3,673,937	3,856,313	△ 182,376
職員手当	1,264,350	900,322	364,028
通勤費	22,235	23,010	△ 775
法定福利費	198,431	160,019	38,412
福利厚生費	1,220	3,785	△ 2,565
事務所賃借料	559,672	424,570	135,102
リース料	160,612	126,746	33,866
水道光熱費	25,716	20,271	5,445
事務用品費	142,888	56,986	85,902
通信費	87,812	81,679	6,133
旅費交通費	3,060	2,520	540
印刷代	178,200	184,248	△ 6,048
交際費	104,600	806,492	△ 701,892
諸会費	26,067	15,820	10,247

科　　目	当年度	前年度	増減
総会費	222,420	287,560	△ 65,140
理事会費	280,620	357,000	△ 76,380
小委員会費	31,280	28,784	2,496
手数料	342,377	336,112	6,265
公租公課費	845	10,621	△ 9,776
雑費	21,532	29,768	△ 8,236
経常費用計	134,985,440	132,420,890	2,564,550
当期経常増減額	1,418,446	2,261,403	△ 842,957
２．経常外増減の部			
（１）経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
（２）経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,418,446	2,261,403	△ 842,957
法人税、住民税及び事業税	74,500	74,500	0
当期一般正味財産増減額	1,343,946	2,186,903	△ 842,957
一般正味財産期首残高	42,610,777	40,423,874	2,186,903
一般正味財産期末残高	43,954,723	42,610,777	1,343,946
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,100,000	2,100,000	0
指定正味財産期末残高	2,100,000	2,100,000	0
Ⅲ　正味財産期末残高	46,054,723	44,710,777	1,343,946

正味財産増減計算書内訳表

（平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで）

（単位：円）

科　　目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	内部取引消去	合　　計
	継　1	継　2	継　3	小計	他　1	他　2	小計			
Ⅰ　一般正味財産増減の部										
１．経常増減の部										
（１）経常収益										
会員会費				0	4,793,368	250,000	5,043,368	7,006,132		12,049,500
特別会費		362,000		362,000	710,000		710,000			1,072,000
受入体制確保費	113,214,652			113,214,652			0			113,214,652
輪番調整受託費	8,938,000			8,938,000			0			8,938,000
預金利息				0			0	25,734		25,734
雑収入				0	430,000		430,000	70,000		500,000
研修補助金		604,000		604,000			0			604,000
経常収益計	122,152,652	966,000	0	123,118,652	5,933,368	250,000	6,183,368	7,101,866	0	136,403,886
（２）経常費用										
事業費	122,773,351	1,924,794	429,990	125,128,135	5,933,368	250,000	6,183,368	0	0	131,311,503
職員手当	4,358,850	351,450	210,000	4,920,300	1,324,350	0	1,324,350			6,244,650
通勤費	66,708	5,559	5,559	77,826	27,619	0	27,619			105,445
法定福利費	681,641	55,005	33,419	770,065	207,422	0	207,422			977,487
福利厚生費	4,088	359	215	4,662	2,268,746	0	2,268,746			2,273,408
事務所賃借料	1,876,552	164,610	98,766	2,139,928	592,596	0	592,596			2,732,524
リース料	538,527	47,239	28,344	614,110	170,062	0	170,062			784,172
水道光熱費	86,222	7,563	4,538	98,323	27,228	0	27,228			125,551
事務用品費	324,185	28,437	17,062	369,684	102,374	0	102,374			472,058
通信費	296,635	25,828	15,497	337,960	123,700	0	123,700			461,660
旅費交通費	10,260	900	540	11,700	3,240	0	3,240			14,940
印刷代	0	0	0	0	325,258	0	325,258			325,258
助成金	0	0	0	0	0	250,000	250,000			250,000
教育費	0	1,208,219	0	1,208,219	0	0	0			1,208,219
諸会費	87,410	7,668	4,601	99,679	27,604	0	27,604			127,283
救急医療体制費	0	0	0	0	120,459	0	120,459			120,459
代表者・院長会費	0	0	0	0	541,038	0	541,038			541,038
小委員会費	104,880	9,200	5,520	119,600	33,120	0	33,120			152,720
手数料	39,487	3,464	2,078	45,029	12,470	0	12,470			57,499
公租公課費	1,011,060	2,960	51	1,014,071	3,284	0	3,284			1,017,355
雑費	72,194	6,333	3,800	82,327	22,798	0	22,798			105,125
受入体制確保費	113,214,652	0	0	113,214,652	0	0	0			113,214,652
管理費								3,673,937	0	3,673,937
職員手当								1,264,350		1,264,350
通勤費								22,235		22,235
法定福利費								198,431		198,431
福利厚生費								1,220		1,220
事務所賃借料								559,672		559,672
リース料								160,612		160,612
水道光熱費								25,716		25,716
事務用品費								142,888		142,888
通信費								87,812		87,812
旅費交通費								3,060		3,060
印刷代								178,200		178,200

正味財産増減計算書内訳表

（平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで）

（単位：円）

科目	実施事業等会計				その他会計			法人会計	内部取引消去	合計
	継 1	継 2	継 3	小計	他 1	他 2	小計			
交際費								104,600		104,600
諸会費								26,067		26,067
総会費								222,420		222,420
理事会費								280,620		280,620
小委員会費								31,280		31,280
手数料								342,377		342,377
公租公課費								845		845
雑費								21,532		21,532
経常費用計	122,773,351	1,924,794	429,990	125,128,135	5,933,368	250,000	6,183,368	3,673,937	0	134,985,440
当期経常増減額	△ 620,699	△ 958,794	△ 429,990	△ 2,009,483	0	0	0	3,427,929	0	1,418,446
２．経常外増減の部										
（１）経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（２）経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 620,699	△ 958,794	△ 429,990	△ 2,009,483	0	0	0	3,427,929	0	1,418,446
法人税、住民税及び事業税				0			0	74,500		74,500
当期一般正味財産増減額	△ 620,699	△ 958,794	△ 429,990	△ 2,009,483	0	0	0	3,353,429	0	1,343,946
一般正味財産期首残高										42,610,777
一般正味財産期末残高										43,954,723
Ⅱ　指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額										0
指定正味財産期首残高										2,100,000
指定正味財産期末残高										2,100,000
Ⅲ　正味財産期末残高										46,054,723

正味財産増減計算書総括表

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	一　般　会　計	輪番調整業務等受託事業会計	内部取引消去	合　　計
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
経常収益				
１　基本収益				
(1)会員会費	12,049,500			12,049,500
(2)特別会費	1,072,000			1,072,000
２　事業収益				
(1)受入体制確保費		113,214,652		113,214,652
(2)輪番調整受託費		8,938,000		8,938,000
３　事業外収益				
(1)預金利息	25,580	154		25,734
(2)雑収入	500,000			500,000
４　繰入金収益				
(1)研修補助金	604,000			604,000
経常収益計	14,251,080	122,152,806	0	136,403,886
経常費用				
Ⅰ　一般管理費				
１　事務費				
(1)職員手当	7,509,000			7,509,000
(2)通勤費	127,680			127,680
(3)法定福利費	1,175,918			1,175,918
(4)福利厚生費	2,274,628			2,274,628
(5)事務所賃借料	3,292,196			3,292,196
(6)リース料	944,784			944,784
(7)水道光熱費	151,267			151,267
(8)事務用品費	614,946			614,946
(9)通信費	549,472			549,472
(10)旅費交通費	18,000			18,000
(11)印刷代	503,458			503,458
(12)助成金	250,000			250,000
(13)教育費	1,208,219			1,208,219
(14)交際費	104,600			104,600
(15)諸会費	153,350			153,350
(16)救急医療体制費	120,459			120,459
(17)総会費	222,420			222,420
(18)理事会費	280,620			280,620
(19)代表者・院長会費	541,038			541,038
(20)小委員会費	184,000			184,000
(21)手数料	399,876			399,876
(22)公租公課費	1,018,200			1,018,200
(23)雑費	126,657			126,657
２　事業費				
(1)受入体制確保費		113,214,652		113,214,652
経常費用計	21,770,788	113,214,652	0	134,985,440
当期経常増減額	△ 7,519,708	8,938,154	0	1,418,446

科　　目	一　般　会　計	輪番調整業務等受託事業会計	内部取引消去	合　　計
経常外増減の部				
経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	8,938,154	△ 8,938,154	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,418,446	0	0	1,418,446
法人税、住民税及び事業税	74,500			74,500
当期一般正味財産増減	1,343,946	0	0	1,343,946
一般正味財産期首残高	42,610,777	0		42,610,777
一般正味財産期末残高	43,954,723	0	0	43,954,723
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,100,000	0	0	2,100,000
指定正味財産期末残高	2,100,000	0	0	2,100,000
正味財産期末残高	46,054,723	0	0	46,054,723

一般会計正味財産増減計算書

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
１　基本収益			
(1)入会金	0	500,000	△ 500,000
(2)会員会費	12,049,500	12,069,500	△ 20,000
(3)特別会費	1,072,000	1,390,000	△ 318,000
２　事業外収益			
(1)預金利息	25,580	33,682	△ 8,102
(2)雑収入	500,000	1,909,000	△ 1,409,000
３　繰入金収益			
(1)研修補助金	604,000	478,000	126,000
経常収益計	14,251,080	16,380,182	△ 2,129,102
経常費用			
Ⅰ　一般管理費			
１　事務費			
(1)職員手当	7,509,000	6,563,099	945,901
(2)通勤費	127,680	180,600	△ 52,920
(3)法定福利費	1,175,918	1,175,411	507
(4)福利厚生費	2,274,628	2,317,617	△ 42,989
(5)事務所賃借料	3,292,196	3,032,640	259,556
(6)リース料	944,784	905,328	39,456
(7)水道光熱費	151,267	144,794	6,473
(8)事務用品費	614,946	407,042	207,904
(9)通信費	549,472	607,069	△ 57,597
(10)旅費交通費	18,000	18,000	0
(11)印刷代	503,458	642,600	△ 139,142
(12)助成金	250,000	325,000	△ 75,000
(13)教育費	1,208,219	1,198,431	9,788
(14)交際費	104,600	806,492	△ 701,892
(15)諸会費	153,350	113,000	40,350
(16)救急医療体制費	120,459	0	120,459
(17)総会費	222,420	287,560	△ 65,140
(18)理事会費	280,620	357,000	△ 76,380
(19)代表者・院長会費	541,038	872,450	△ 331,412
(20)事務長会費	0	400,000	△ 400,000
(21)看護部長会費	0	300,000	△ 300,000
(22)薬剤部長会費	0	300,000	△ 300,000
(23)小委員会費	184,000	205,600	△ 21,600
(24)手数料	399,876	370,700	29,176
(25)公租公課費	1,018,200	972,700	45,500
(26)雑費	126,657	212,627	△ 85,970
(27)名簿作成事業費	0	259,200	△ 259,200
経常費用計	21,770,788	22,974,960	△ 1,204,172
当期経常増減額	△ 7,519,708	△ 6,594,778	△ 924,930

科　　目	当年度	前年度	増減
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	8,938,154	8,856,181	81,973
税引前当期一般正味財産増減額	1,418,446	2,261,403	△ 842,957
法人税、住民税及び事業税	74,500	74,500	0
当期一般正味財産増減額	1,343,946	2,186,903	△ 842,957
一般正味財産期首残高	42,610,777	40,423,874	2,186,903
一般正味財産期末残高	43,954,723	42,610,777	1,343,946
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,100,000	2,100,000	0
指定正味財産期末残高	2,100,000	2,100,000	0
正味財産期末残高	46,054,723	44,710,777	1,343,946

精神科救急医療体制輪番調整事業特別会計正味財産増減計算書

平成３１年４月１日から令和２年３月３１日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
一般正味財産増減の部			
経常増減の部			
経常収益			
１　事業収益			
(1)受入体制確保費	113,214,652	109,445,930	3,768,722
(2)輪番調整受託費	8,938,000	8,856,000	82,000
２　事業外収益			
(1)預金利息	154	181	△ 27
経常収益計	122,152,806	118,302,111	3,850,695
経常費用			
１　事業費			
(1)受入体制確保費	113,214,652	109,445,930	3,768,722
経常費用計	113,214,652	109,445,930	3,768,722
当期経常増減額	8,938,154	8,856,181	81,973
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	△ 8,938,154	△ 8,856,181	△ 81,973
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	0	0	0

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

１．重要な会計方針

（１）有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債権…移動平均法による原価法を採用しております。

（２）固定資産の減価償却の方法

減価償却資産は保有しておりません。

（３）引当金の計上基準

退職給付引当金…職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度において発生していると認められる額を計上しております。

（４）リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

（５）消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

２．基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
一般会計				
基本財産				
定期預金	2,100,000	0	0	2,100,000
特定資産				
災害時対策積立預金	3,000,000	0	0	3,000,000
周年記念事業積立預金	3,500,000	700,000	0	4,200,000
契約更新料積立預金	114,000	0	114,000	0
会員名簿積立預金	0	130,000	0	130,000

３．基本財産及び特定資産の財源等の内訳
基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりであります。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	うち指定正味財産からの充当額	うち一般正味財産からの充当額	うち負債に対応する額
一般会計				
基本財産				
定期預金	2,100,000	(2,100,000)	(0)	(0)
特定資産				
災害時対策積立預金	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
周年記念事業積立預金	4,200,000	(0)	(4,200,000)	(0)
会員名簿積立預金	130,000	(0)	(130,000)	(0)

４．満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

（単位：円）

科　　目	帳簿価額	時　価	評価損益
一般会計			
投資有価証券			
神奈川県２２５回公募公債	12,500,000	12,656,250	156,250
神奈川県２４３回公募公債	10,000,000	9,949,000	▲ 51,000

５．実施事業資産について
実施事業資産は保有しておりません。

附　属　明　細　書

１．基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表に対する注記２に記載をしているので内容の記載を省略しております。

公益目的支出計画の概要

１．公益目的支出計画の状況

（単位：円）

	計画	実績	差額
① 公益目的財産額（平成25年3月31日時点）	42,207,305	42,207,305	0
② 前事業年度末日の公益目的収支差額	11,153,520	11,396,772	△ 243,252
③ 当該事業年度の公益目的支出額	88,871,920	125,128,135	△ 36,256,215
④ 当該事業年度の実施事業収入額	87,013,000	123,118,652	△ 36,105,652
⑤ 当該事業年度の公益目的収支差額 ②＋③－④	13,012,440	13,406,255	△ 393,815
⑥ 当該事業年度末日の公益目的財産残額 ①－⑤	29,194,865	28,801,050	393,815

２．公益目的支出内訳（実施事業の収支）

（単位：円）

事業内容	公益目的支出額	実施事業収入額	収支差額
（継１）精神科救急医療に関する事業	122,773,351	122,152,652	620,699
（継２）人材育成及び教育研修に関する事業	1,924,794	966,000	958,794
（継３）委員等の推薦や諮問・協議の仲介等に関する事業	429,990	0	429,990
計	125,128,135	123,118,652	2,009,483

第３号議案

監 査 報 告

令和２年５月８日

一般社団法人 神奈川県精神科病院協会
会 長　　竹 内　知 夫　殿

監 事 長谷川吉生 印
監 事 西井華子 印 西井

平成 31 年４月１日から令和２年３月 31 日までの事業年度の理事の職務執行に関して本監査報告を作成し、以下のとおり報告いたします。

１　監査の方法及びその内容

理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集等に努めるとともに、理事会その他会議に出席し、理事及び事務局員からその職務執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な関係書類等を閲覧し、法人事業所において業務及び財産の状況並びに公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する書類の調査を行いました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書）並びに公益目的支出計画実施報告書について検討しました。

２　監査の結果

（１）事業報告等の監査結果

一　事業報告及びその附属書類は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（２）計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況を適正に表示しているものと認めます。

（３）公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

令和元年度 優良職員表彰受賞者名簿

令和２年５月

病院名	受賞者氏名	職名	備考
愛光病院	関山　亮	看護師	
	志田輝郎	看護助手	
	千葉幸代	調理師	
あさひの丘病院	田中富江	看護師	
	内田美宣	看護師	
	進藤照子	看護補助	
厚木佐藤病院	吉田浩子	介護福祉士	
	住澤達三	診療放射線技師	
	山之口とし子	准看護師	
生田病院	岡崎珠美	看護師	
	宮下幸久	看護師	
	早川貴子	事務	
神奈川病院	古堅一志	看護師	
	錦織めぐみ	事務	
	秋山芽和	精神保健福祉士	
北里大学東病院	大石　智	精神神経科医師	
	提中　拓	医療ソーシャルワーカー	
	保坂祐己	看護師	
清川遠寿病院	相原怜美	作業療法士	
	東江雄也	看護師	
	佐久間早苗	事務員	
けやきの森病院	及川たか子	看護師	
	近藤京美	調理師	
	本多利美	准看護師	
国府津病院	菅井京子	作業療法士	
	浅野　恵	作業療法士	
港北病院	坂下リク子	看護補助者	
	山谷　緑	事務	
	池谷順子	看護補助者	
相模ケ丘病院	大田早希	看護師	
	仲間　一	看護師	
	玉城朝嗣	看護師	

病院名	受賞者氏名	職名	備考
紫雲会横浜病院	吉田　義治 牧野　久美	事務職員 准看護師	
十愛病院	新村　里沙 浅井　由美 河原　昇	看護師 管理栄養師 設備	
湘南病院	貝崎　さつき 中野　浩志 帯谷　信行	看護師 医師 看護師	
相州病院	野原　瑞祥 河合　明子 加賀　時子	介護福祉士 介護福祉士 看護師	
曽我病院	秋山　美穂 山崎　裕子 小澤　秋弘	看護師 看護師 営繕	
武田病院	松下　智恵子 小山　浩子 原　真由子	看護師 看護助手 精神保健福祉士	
丹沢病院	佐藤　みゆき 末吉　ひとみ 吉川　弘美	准看護師 看護師 事務職員	
東横恵愛病院	原　大佑 島　美智子	看護師 ケアワーカー	
秦野病院	志村　敬子 菅野　美代子 須藤　和彦	看護師 准看護師 事務職員	
日向台病院	上田　高之 菅原　俊一 三重野　美恵子	作業療法士 看護師 事務	
日野病院	稲部　健児 三代澤　幸代 後藤　一磨	看護助手 准看護師 看護助手	
平塚病院	関野　成子 小杉　文子 入澤　エミ子	看護補助 看護師 看護補助	
福井記念病院	新倉　順子 長島　篤志 倉田　ひかり	看護師 看護師 精神保健福祉士	

病院名	受賞者氏名	職名	備考
藤沢病院	國近　舞子	看護師	
	和田　隆三	看護師	
	田口　創史	看護師	
富士見台病院	佐々木　清香	精神保健福祉士	
	野村　弘子	看護助手	
	東　律子	看護助手	
保土ヶ谷病院	山本　良子	看護師	
	岸下　友枝	看護師	
	伊藤　悦子	准看護師	
横浜相原病院	石井　真太郎	看護師	
	川戸　香奈	看護師	
	小野塚　修一郎	作業療法士	
横浜丘の上病院	須田　亘	作業療法士	
	井上　史朗	看護師	
	日下部　剛	看護師	
横浜カメリアホスピタル	坂本　多美子	看護師	
	向田　賢司	看護師	
	京野　直美	作業療法士	
横浜舞岡病院	加瀬　昭彦	医師	
	小室　朋子	准看護師	
	草村　武	看護師	
ワシン坂病院	小野　勝三	看護師	
	岡崎　千代子	看護助手	
	岩谷　未砂子	看護助手	
受賞者計93名			

令和元年度 永年勤続病院職員表彰受賞者名簿

令和２年５月

病院名	受賞者氏名	職名	備考
愛光病院	藤森 せつこ 鎌倉 恵美子	准看護師 看護科長	
湘南病院	荒木 順子	放射線科助手	
相州病院	青木 光年	理事	
曽我病院	加藤 裕 河村 小織 足立 嘉樹	事務部長 看護科長 副院長	
東横恵愛病院	荒井 竜也	看護師・事務長	
秦野病院	堀部 止	看護部副部長	
秦野厚生病院	佐々木 なおみ 菊地 正樹	精神保健福祉士 看護師	
藤沢病院	廣田 信子	理学療法士	
横浜丘の上病院	間山 芳子	准看護師	
横浜舞岡病院	瀬川 光子 生出 敦子	医師 准看護師	
			受賞者計15名